

日本風景街道 未来ビジョン共創会議 設立趣旨

日本風景街道は、地域住民、企業、NPO 等の多様な主体が自主的に連携し、道路を軸として地域の自然、歴史、文化、産業等の魅力を磨き上げ、交流の促進や地域活性化に寄与してきた取組である。その根幹は、各地域の創意工夫と主体性にあり、これまで全国各地において特色ある活動が積み重ねられてきた。

一方で、近年の社会環境の変化、人口減少・高齢化の進行、観光需要の質的变化、さらには大規模災害の頻発等を背景に、地域を取り巻く課題は一層複雑化している。とりわけ、能登半島絶景海道における震災後の復興の取組においても見られるように、風景街道は復興を支える重要な役割を果たしている。このように、風景街道には、景観形成や観光振興にとどまらず、災害復興、環境保全、二地域居住の推進、地域産業の創出など、防災、地域経済、環境といった幅広い政策課題に貢献する役割が期待されている。

このような状況を踏まえ、今後の日本風景街道は、地域主体の自主性を尊重しつつ、国及び地方公共団体等がより明確に支援・伴走する体制を強化し、「もっと繋がる風景街道」へと発展させていくことが求められる。

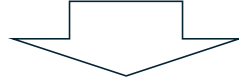
本会議は、こうした認識の下、有識者や関係機関等の多様な知見を踏まえ、風景街道の価値向上と持続的発展に向けた方策について検討を行い、2027年に20周年を迎える日本風景街道について、今後の10年間を見据えた施策展開につなげることを目的として設置する。

今後のスケジュール

5/25

第1回 共創会議

・風景街道の現状と課題、今後の進め方 等



7月～8月

第2回 共創会議（地方開催）

・風景街道現地視察、提言内容、具体施策の議論 等



9月～10月

第3回 共創会議

・ユース委員によるWS報告、提言内容、具体施策の議論 等

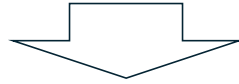
※必要に応じて追加開催



11月～12月

第4回 共創会議

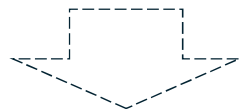
・提言、具体施策の取りまとめ 等



年内目途

日本風景街道 全国意見交換会

・提言の報告



2027年～

定期的に会議開催

・取組の継続的改善、提言のフォローアップ 等